

# 10. 現代英語と英語の未来

# 要点

1. 現代英語の言語変化
2. 英語はなぜ世界語となったのか？
3. 英語に働いている求心力と遠心力とは？

# 言語変化

( ) 的に変化 (change) しない言語はないし, ( ) 的に変異 (vary) しない言語はない (#1040). もしあるとすれば, それは既に固定化した死語 (dead language) である (cf. ラテン語, サンスクリット語). 現代英語も例外ではない.

# 現代英語の言語変化

1. 現代英語の変化と変異の一覧 (#860)
2. その他 ,拙著『英語史で解きほぐす...』  
の第 10 章第 1 節に関する記事 や tag  
[pde\_language\_change] を参照 .

# 現代英語の変化の特徴 (#625)

1. 文法化 ( ): *be supposed to, be loving (?) (#417)*
2. 口語化 or 民主化 ( )  
or *democratization*: first-name terms
3. 米語化 ( ): *movie, gorgeous (#477)*

4. 過密化 ( ): blends,  
acronyms, 名詞連鎖 *New York City  
Ballet School instructor*

# 英語成功物語？

1. 他民族，他言語との混交による  
( ) な歴史
2. ( ) 以上の言語から語彙的な影響を受けた
3. 文法が著しく ( ) した
4. フランス語のくびきから這い上がって近代期に ( ) した

5. アカデミーによらず，論争の末の「国民投票」で（ ）文法ができた
6. 広く世界に受け入れられて「（ ）語」へ



# 英語成功物語の落とし穴

1. 簡単な言語だから世界語になった？  
— 言語の ( ) は計れない #293
2. 英語は民主的？  
— 英語拡大の背景には ( ) 主義
3. 英語は優れた言語か？ (#1072)  
— 世界約 ( ) 個の言語は言語学的には ( )

# なぜ世界語となったか (#1082, #1083)

英語が世界語となったのは、英語に内在する（ ）ゆえではなく、（ ）ゆえである。具体的には、軍事力、経済力、技術力など。社会的条件さえ整えばどの言語も世界語となりうる。（#2935）

# 歴史のなかの世界語

1. G( )
2. L( )
3. F( )
4. A( )
5. Ch( )

# 複雑なラテン語の屈折と性

	2nd Decl.		3rd Decl.		4th Decl.	
	Sg.	Pl.	Sg.	Pl.	Sg.	Pl.
Nom.	alumnus	alumni	corpus	corpora	apparātus	apparātūs
Gen.	alumni	alumnōrum	corporis	corporum	apparātūs	apparātuum
Dat.	alumnō	alumni	corpōi	corporibus	apparātui, ū	apparātibus
Acc.	alumnū	alumnōs	corpus	corpora	apparātum	apparātūs
Abl.	alumnō	alumni	corpore	corporibus	apparātū	apparātibus
Voc.	alumne	alumni	corpus	corpora	apparātus	apparātūs

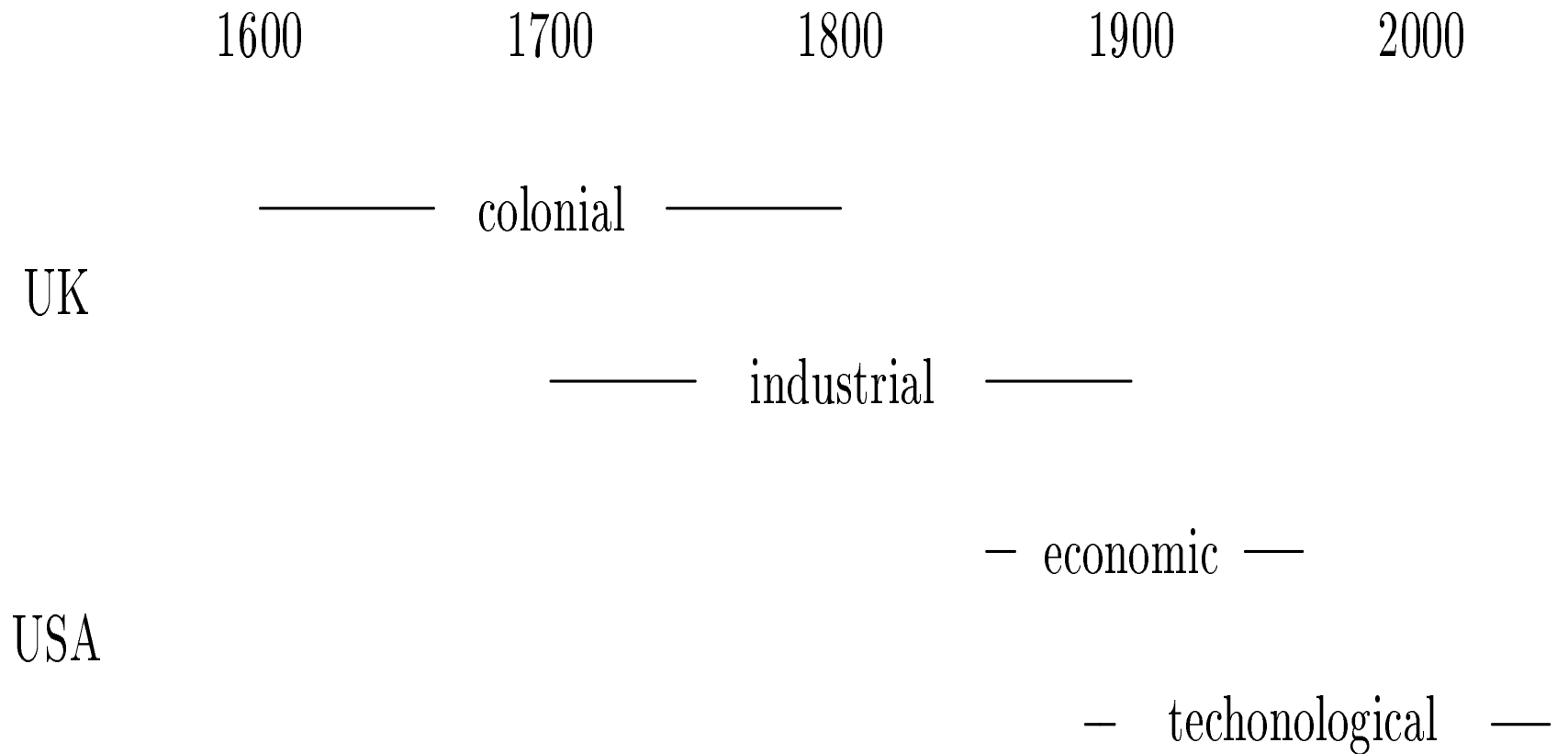
## 17–19 世紀の UK の影響力

In the seventeenth and eighteenth centuries English was the language of the leading ( ) nation — Britain. In the eighteenth and nineteenth centuries it was the language of the leader of the ( ) — also Britain.  
(Crystal)

## 19 世紀後半以降の USA の影響力

In the late nineteenth century and the early twentieth it was the language of the leading ( ) — the USA.  
(Crysta)

# Power Shift from ( ) to ( )



# 英語の世界化

1. 世界における英語の広がり (#376)
2. ENL, ESL, EFL の基本 3 区分モデル (#173)
3. ENL, ESL, EFL の地域のリスト (#177, #215)
4. 植民地化の様式で見る ( )  
の分類 (#409)



## 英語の諸変種 ( )

1. 変種ごとに ( ) が存在 (#426)
2. Indian English, Singlish, Jamaican English, etc.
3. ( ) and ( ) (#445, #463)

# 英語話者人口

1. 母語話者数ランキングで英語は第 ( )  
位 (#397)
2. 近代からの英語話者人口の増加  
(#933)
3. ENL, ESL, EFL の話者人口 (#173)
4. 主要 ENL , ESL 国の人口増加率  
(#375, #759)

# 英語観の変容

1. 英米ブランド or ( ) ?
2. ( ) の英語戦略 (#163, #372)
3. ( ) Problem (#163, #272)

# 英語のモデル化 (tag [model\_of\_englishes])

1. Kachru の ( ) モデル (#217,  
#222)
2. ( ) モデル (#272)
3. Graddol の ( ) モデル  
(#414)

# WSSE の兆し

1. WSSE = ( ) )
2. ( ) の変化
3. ( ) の忌避
4. <th> 音の忌避 (#842)
5. cf. A ( ) variety (#419)

# 英語支配への危惧

1. 世界の英語観の類型 (#1194)
2. 英語は侵略の言語か？ (#1073)
3. 英語帝国主義批判 ( )  
(tag [linguistic\_imperialism])
4. 危機に瀕している言語と世界語の関係 (#274)

# ELF の求心力と遠心力

1. 言語の二つの機能
2. (1) mutual ( ) — 求心力
3. (2) cultural, national, ethnic etc.  
( ) — 遠心力
4. 両機能の緊張関係により，複雑な  
( ) 的状況が

# 英語の未来

1. 英語の一人勝ちにはならない？
2. bilingual world へ向かう兆し？
3. 少数の主要言語が並び立つ寡頭支配か？
4. (                    ) の発展のもつ意義？
5. (                    ) のもつ意義？



## まとめ

1. 現代英語も変化しているし，これからも変化し続ける
2. 英語は（ ）的な理由で，歴史の（ ）により世界語となった
3. 世界語としての（ ）と World Englishes への（ ）力

## 講義「英語史」の終わりに

1. 英語の見方が 180 度変わる！
2. 英語と歴史（社会科）がミックスした不思議な感覚の科目！
3. 素朴な疑問こそがおもしろい！  
(#1093)
4. 現代英語に戻ってくる英語史